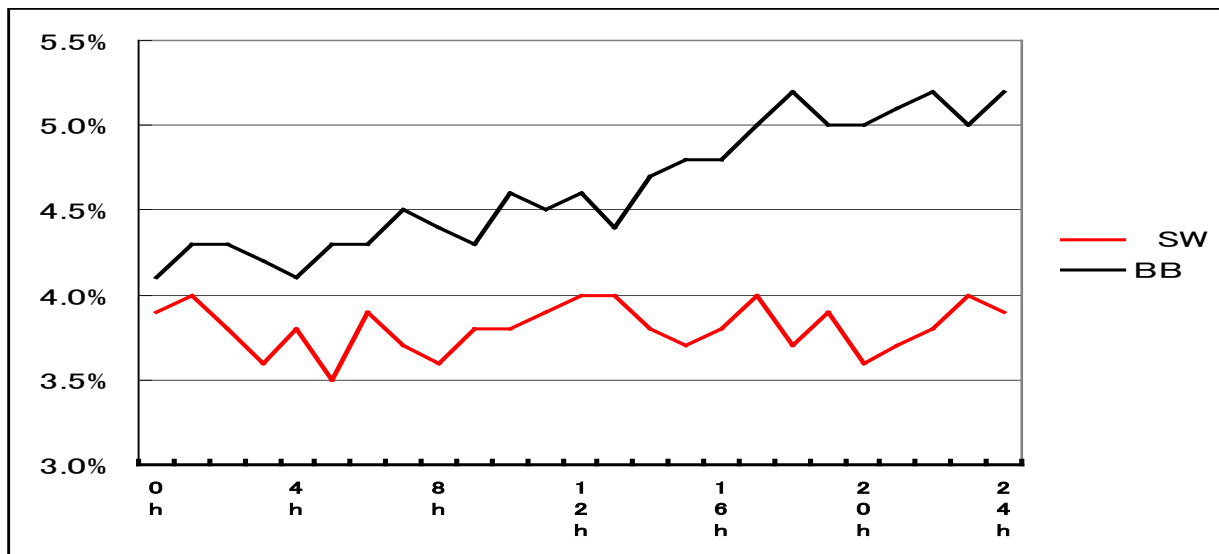


SW 高炉スラグコンクリート結露確認試験

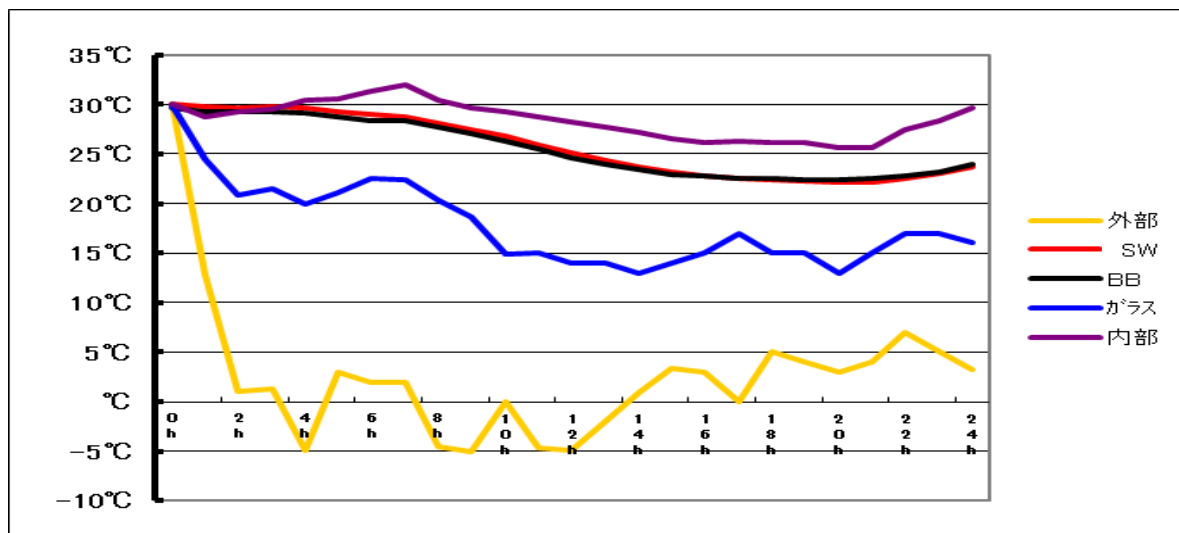
SW 高炉スラグコンクリートの結露状況を確認するため、一般的な BB コンクリート(圧縮強度 30N/mm²)及び、ガラス(厚み 25mm)との比較試験を行う。結露確認試験方法は、JIS A 1514 に準拠する、測定及び観察項目は『コンクリート含水率・温度・結露の有無』を確認する事とした、結果及び状況は下記を参照。

【含水率比較表】



SW 高炉スラグコンクリートは**結露発生せず**。含水率については、BB コンクリートは時間と共に含水率が上昇するのに対して、**SW 高炉スラグコンクリートは含水率が安定・時間変化による給水は認められなかった**。これは、SW が緻密なコンクリート構造に寄与するためと考えられる。(ガラスは試験開始後 15 分で結露発生、その後 24H 結露状態が継続)



【温度変化比較表】



SW 高炉スラグコンクリートと BB コンクリートの温度差は最大でも 2.5℃程度であり、外気温・内気温の変動による、熱伝導性能は同じと考えられる。

【試験状況写真・試験概要】

【試験概略図】		【含水率測定状況】
想定室内 30℃ 60%RH	断熱層 試験体 結露・含水率測定を行なう 断熱層	想定屋外 冷却 0℃
※ コンクリート 試験体は0.5m×0.5m×0.25m ガラス試験体は0.5m×0.5m×0.025m		【ガラス結露状態】



 **株式会社 プロダクト技研**
PRODUCT GIKEN

OSo シリカ ジャパン 研究所
SILICA SILICA JAPAN LABORATORY